み法を味わ

感謝と

懺

77



発 行 浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081 岡市笠岡2065 電話(0865)62-2623 FAX (0865) 62-2595 振替01260-9-13760 http://joshinji.suki-ari.net/



しよう。 ととき、 いてくるでありましょう。 より良き自分、より良き社会を築き上げる意欲がわ 感謝と懺悔の心こそ忘れてはならないことでありま いただき今日まで生きてきました。 さまのお慈悲に護られ、多くの人やもののおかげ たしいことも。自分についてはどうでしょうか。 楽しいことも、苦しいことも、 しただろうか、反省しきりであります。 しかし、この心の中からこそ来るべき新しい年に、 それに対してこの私は人に社会に何を残せただろ 家庭にも社会にもいろいろなことがありました。 今年も師走になりました。 役に立っただろうか、 静かに一年を振り返ってみましょう。 ご報謝といえることを あわただしい 悲しいことも、 ありがたいこと しかしこの 日 々 腹立 0

ごあんない

十二月一日(土)

十三時半より

鷹谷俊昭著

『月ごとのことば』





ご法話

一原市大和町 教専寺 福 間 義 朝 師

の光行寺、

注意報も出

ていましたので、

年回忌

1 周忌

3回忌

7回忌

13回忌

17回忌

25回忌

33回忌

50回忌

の解散となりました。





いう意味で使いますが、

浄土真宗

ることがしばしば違う私たち、

自

分の都合だけでものごとを捉えて

ているか気になってしかたない私

それを私たちと同じ目線に

救わずにはおれな

しまう私たち、

人からどう見られ

阿

弥陀さまの恩徳が私たちに けられるという意味で用

それは故人からの恩徳でも

聖人の直弟子の流 がもたらし 形見名号略 公要では 前住職 当寺に伝わる法宝物を経蔵よ 九日十三時半より勤 11 0 法宝物 わ 命尽十方 本堂で虫干し れを拝 が 縁起」 たといわ 「中国真宗念仏行者 『仏偈』 れ を拝読。 をくむ明光上 まし 光如 れる、 をお勤め 法 しました。 まりまし 座 が、 親鸞 0

> うの 地獄というのは今の私たちの姿を あります。 また法物の地獄絵を眺めながら、 かりと生きていきましょうと が、 私たちの教えです。 そのご恩に感謝 45

ます。 で報 とお説き下さい りと生きていくことが大切で には責任をもち、 を生きる私たちです。 き人の恩徳に感謝しつつ、 まな苦しみを受けながら生きてい まみれて暮らし、 現した世界です。 いを受ける、 悪いことをすればこの人生 ました。 外出を控えるよう 阿弥陀さまや亡 自業自得の その結果さまざ いろんな欲望に 自分の しっ 人生 行為

主な出来事

全国で地震、台風豪

14歳棋士、藤井四段

テレビ小説「あまち

iPS細胞作成に成功

ゃん」がブームに

山中伸哉教授が

イラク戦争開戦

フセイン政権崩壊

阪神・淡路大震災

利根川進氏にノーベ

ル生理学・医学賞

日本万国博覧会

雨などの被害続出

が29連勝

は自分の徳を他人に振り向けると 下さっています。 のことを常に気にかけて まずは かれ、 ます 亡く いただい 親 仏さまとなら なられた方々は 俗世に生きる 他宗では てい のご ・ます れて 和 0 は (還 お浄土 たび 回 句 一向と を引 か 相 た

か

想

秋季彼岸会および 永代経法要

ですが、 だされ、 追 り、 福江、 に悼永代経法要が勤まりまし 九 月二 西 ご法話を拝聴。 同で阿弥陀経をお勤 方寺は兵 秋季彼岸会および門信徒総 数年前 十 西 万寺の 職 日 で あ から倉敷に分院を 庫 金 岸県豊岡 る先生はそこに 幡多哲也 ご講師は倉敷 午 め 後 市 の寺院 師でし したの た。 時半

出されながら、 やすくお話しください ご自身の体験を多く引き合 先のご和讃を分か ました。

阿弥陀さまです。

をのりだしてくださっ

てい

るの いと身

日航機よど号ハイジャック 該当のお方には別途お知らせいたしま すが、遺漏するこもありますので、ご留 意、ご確認の上、ご法要の日時を早めに ご相談ください。

2019年(平成31年)年回表

往生年

平成30年

平成29年

平成25年

平成19年

平成15年

平成 7年

昭和62年

昭和45年

さ 7 15

いのちを見つめてくださっていま あげられ、 という親鸞聖人のご和讃 阿弥陀さまは世の中のあらゆ 口に出る言葉と心に思って 阿弥陀と名づけたてまつる」 -方微塵: わし、 、お話しくださいました。 世界 摂取 の して捨てざれ 念仏の衆 を讃 11

布

ではた講として『薩摩 での大弾圧の様子

を開い

た。

ご本尊を中心にお経を

して四

「方に見張り番を置き、

あげ、

法話をし、

法義相続につと

たという。

かし万延十九年(一八六〇)、

仏法取締役に探知され

は、

で、た講頭・永田正源の話が伝み教えを守るために自ら命

わ を に

に移すと、

大幅様を担い

授かったご本尊

いる集落を順番に回り、

夜陰を期 で同行の 覧を中心に活動し

た細布講

首縊り松原

を受け継いだの

正源だ。

源は熱心に布教につとめ

摩かくれ念仏めぐり

5

殉

三業惑乱で幕府から正統な教え國諸記』(本願寺蔵)に記録が残る。國諸記』(本願寺蔵)に記録が残る。

いとされた僧侶の

一人である

大魯から講

頴ュュリ

0

0

0 0

0

0

0

0

0

0

0

0

0 0

0

0

が

七

例

0

サ

ヘクー

月二十三、

兀

(男子三

参加

0 日

スケール関 に開 小学生は七十名 かれ まし 女子三十一

体をよく動かすので食事も進み、 先生ご指導のもと箏 ナッツなどを燻製にし、 しに行き、 ただきました。 に分かれてゲームなどをして、 んなお代わりを何度もしてい 初日には子供たちで町に買い出 ズやかまぼこ、 一泊二日を過ごしました。 「楽しかった」と子供たち。 燻製作りをしました。 翌日には平田澄子 ソー (こと) 夕食にい セージ、 体験 ま

でした。 備後教区内 導にお越しいただき、 人会のご協力をい の若手僧 ただき 食

事等 仏前での作法を習った後は、 は婦 楽 班

0 0

ご本尊「大幅様」を知覧 (一八四五)に大魯から 拷問 考えたからである。 た時、 まで連行された。 正 様 源は捕縛されて の露見を防ぎ、 自決を覚悟した。 0 0 0 知覧塩屋 0 0 0 0

法座 まで ど駆け上がっ 北方の中尾谷 ついて脱出し を唱 松原で正 そして奥 キロほ

> 0000 00 0 0 0 00 0 0 00 本陣跡。知覧町南別府・法泉寺門徒

に違いない」と語る。

人のすきを 正 から免れさせて講を救おうと 源の神妙な態 度に気を許した 正源は縄につい 同行を検挙 死して大 の本陣 B

(本願寺新報

平成二十九年四月十日号より)

現在、松原はないが、近くの 法泉寺 (明治14年開基) の山 号が「松籟山」(松に吹く風 の音) であることから、古く は松原であったことが知れる。

総代の白澤英太郎さんは「法難の地 に続くこの道(写真右側)を逃げた

など各地 次第に打ち解け、 知らない子が多かっ すことができまし から 加 が たの あ り、 です 日 お 間 が を

の保護者 0 ハ 井 方 々と共にい 、スイカ を お \mathbb{H}

きました。 夫さん提供の 帰 ŋ 際 は、 生江 浜 0 赤

0

なく

尚

山

大阪

0 0

0

0

0

0

0

٥

迎え 保 笠岡 市内だけ

0 0

仏高ら で自ら命を絶っ かに松の 下 枝に 五十八歳だっ 掛 け た火

が残るという。 屋には今も、 経り 松原」 0

第六十一回

しみの 災さ

中

から

)生き:

グカ

を

記

念講 れ

演

H

本大震災で

た菅

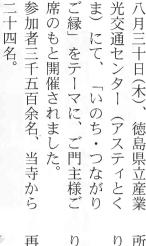
原

文子さ

題

仏教婦人会大会参加 四国

ま 光交通センター 席のもと開催されまし 加者三千五百余名、 月三十日(木)、 にて、 をテーマに、 11 いのち・ (アスティ 徳島県立産業 ご門主 つながり 当寺から 様ご



再会を約束し帰路につきました。 に生 り入れた楽し 所に童謡 伽 聴くことができませんでした。 ました。 ながらにせつ んなに苦し 最後は、 午 " (回二年 の皆様。 後 かされ 0 いからは、 実演を堪能しました。 どんなに辛 などなじみ深い 後、 いて)」。 徳島が誇る かったか、 法話中 い講 せつとお 法話 安芸教区大会での 当時 演でした。 -心ですが、 楽団 かったか、 の状況 涙 話 音楽 し下さ 阿波おど " なしには 迦陵 を を涙 ど 取随頻 11

スクール協

ちは お握り・ 目朝はサンドイッチ。 夜はカレーライス・サラダ。二日 を手作りしました。一日目の 会員の皆様の協力で美味しいご飯 ポテトサラダ 七月二十三、二十四 「おいし 豚汁・きゅうりの みそ汁。 昼は唐揚げ 日 0 酢 子供た 両 . の 昼は、 日 物。

を方

までして喜

、れまし

とお代わ

おいしい

ました。 六名が神島 九 月十 八日 の天神荘に慰問に行 火、 コー ル 清 風 き

沿時つ代 なひと 味違う 男性 々も ずさんだ歌から学生時代、 敬老の日にちなんで幼少期にう素晴らしい慰問となりまし 回 た曲を集めました。 名も は門信 時を過ごすことが出 7 新 緒に歌つ 聞いてくださり、 婚時代と人生の 加 わ 徒 から り、 たり、 いつもとは 特別ゲスト 時には河 来 有 ま 意 青 義涙の に 春

デイサービス慰問

力で、 ました。 九 月十 早 朝より三十九名の皆様の 本堂 • 日 日 境内がきれいにな 秋 0) 彼岸 を ま え

協 り

報恩講 お斎のご案内

12月1日(土)正午から 聚園和室にて

お斎とは仏事に出される食事のこと です。今年も仏教婦人会のみなさん が丹精込めて作ってくださいます。 精進料理で「とてもおいしい」と 好評です。

ご遠慮は無用です。大勢のみなさん と会食いたしましょう。



七 門 徒

広

場

災害お見舞

·七月の豪雨で県内では真備

町をはじめ各地で浸水、 なく農機具や工場機械も浸かり、 下含めると十戸以上の門徒さんに 区では広範囲に浸水し、床上、床 可能になったほか、笠岡の吉浜地 さん宅が二階まで浸水し、 などの被害が多発しました。 土砂崩れも多くありました。 被害がありました。住まいだけで 当寺では、真備町の二軒の門徒 土砂崩れ 居住不

な被害を生むなど大変な夏となり 続々と到来し、 その後も猛暑が続き、台風が 復旧の妨げと新た

を申し上げます。 被害にあわれた方々にお見舞

みどりが丘B 地区委員さん交替 (旧) 森山益子さん

河野晴美さん

も引き続き役員をしてくださって がとうございました。後任は河野 さんが受けてくださいました。ど ことになりました。これまであり いましたが、ご都合で退任される つぞよろしくお願いいたします。 森山さんにはご主人のご往生後

> されました。 方には本山から仮のご本尊が下付 なお、 真備で被災され た二軒 0

「御同朋の社会をめざす運動」

推進協議会開催

各氏が参加しました。 開催されました。里組の住職、 平井の地福寺にて標記の研修会が が参加。当寺からは前住職、 十月二十日十四時より笠岡市 長安圭一、宍戸得二の総代 門徒推進員等約三十人

貧困」が掲げられたことをお話 和貢献策の一つとして「こどもの 実践運動の宗門の目標として、平 最後に全体でまとめを行いました。 学ぶ」として本山派遣講師の上原 いただきました。 加者が班に分かれて話し合いをし、 大信師による問題提起をうけ、 「ご親教『念仏者の生き方』に 参

募金を開設しているので、 い課題で結論は出ませんでした。 で立ち入っていけばいいのか、 を行いましたが、 よろしくとのことでした。 宗門では子供たちの笑顔のために この 「貧困」について班別討 人道的にどこま 重

大嶋

21 18 14 84 95 83 76 90 93 96 86

> 鴨方町 神戸市

里庄

8 8 7 7 信子

7

四番町

美濃村

7 6

4

井原市 西大島 京都市

西山

志

津子

6

29 27

還

浄

(げんじょう)

称略

? 質問

Co

1

が開

平成31年の予定

『冥福』とは何ですかっ

暗くさみしい迷いの世界」のこと。 冥福とは 「冥土」とは「死後に行くとされる 「冥土での幸福」ということ

界にいかれましたが、そこで何とかお幸 ます」という文句は、 界から祈っています」ということになり せにお過ごしくださるよう、こちらの世 弔電などで使われる「冥福をお祈りし 「暗くさみしい世

りと生きてまいります」のような言葉が はなく「残されをもの一同さらにしっか は全く心配はいらないとし、先の文句で 浄土真宗ではお浄土に行かれた故人に

配をかけているわが身に目を向けていき 故人を心配するのではなく、故人に心

> 第55回 2月5日(火) 第56回 4月9日(火) 第57回 6月5日(水) 8月24日(土) 第58回 10月9日(水) 第59回 第60回 12月11日(水)

平成31年の予定

さまの教え」です。 って進めています。 の仏教入門』というテキストに沿 来年の予定です。 住職による「やさしい仏教講座 現在は 『高校生から

0

お気軽に

ご参加ください。 お誘い合わせのうえ、

やさしい仏教講座

長安 渡邊 山﨑 桑名賀壽子 \Diamond \Diamond **♦** 8 10 10 10 10 10 10 10 9 9 \Diamond 5 30 20 20 11 10 6 22 16 21 16 87 82 95 95 92 84 87 81 \Diamond 大 関 九番町 鴨方町 里庄 \Diamond **♦** 町 畄 出

阿

弥

陀它

女口

来

絵

像

诤

寺

法

宝

物

そ

0

22

裏書の真偽はともかく、

4

そ

の

あ ゆ

聖冏 鎮西派の教団発展につくした了誉 浄土宗では武蔵(東京都)を中心に の真慧上人(しんねしょうにん)、 宗では本願寺の蓮如上人や高 づき盛んに行われました。 次の室町時代になっても、 宗では天龍寺をひらいた無窓疎 n 倉時代に生まれた新仏 ようよしょうげい)、 浄土真 ひきつ 教は、 臨済 田 石

独特の庭園がつくられました。 墨画や茶道が発達し、 文化は新しい芸術を生みだし、 られた日親(にっしん) てゆきました。 新宗教は民衆のあいだにひろまっ た人びとの非常な努力によって、 ようきん) (なべかむしょうにん) として知 さらに江戸時代になると、 動した瑩山 日蓮宗では鐺冠上人 なお禅のもつ生活 紹瑾(けいざんし 石庭とよぶ 、こうし 北陸の地 徳川 水

むそうそせ つきゅうそ 休宗

うじゅ

とも忘れることができませ

*** 新の風をふきこんだ高僧の出たこ ます)、名利に超然とした良寛な 切経の開版で有名な鉄眼 維持が尊ばれ、 ねがう幕府の けでもありません。 ましたが、 て、 組織が整備され、 大衆化につとめた白隠禅師や、 確立され 車がかけられたのです。 切経』が当寺に所蔵されてい 各宗派では宗学が盛んになり (この鉄眼が開版した『黄檗 時的であったにもせよ、 政策にもとづく その反面 仏教の普及に 方針もあって、 停滞の感がない 学問が奨励さ しかし、 太平無事を 檀家制度が (てつげ そうの 現状 0 わ 九

と窺われます。 おり、 然とした画軸で阿弥陀如来のお姿 復されました。 がくっきりとした筆致で描かれて なお、 かなりの この画 正午より 軸 年 代が経っている は 平. 成 八年に修

当寺を開創した善了が当地に下 たて86 cm よこ37 cm

した時にもたらしたものと推定

で、 して崇められた源信和尚のことで 史に一大金字塔を打ち立てた方 生要集』3巻を完成し日本浄土教 心僧都は平安中期の天台僧で『往 筒井家重幅也」とあります。 裏書に えます。 親鸞聖人が七高僧の一人と 「来迎仏 恵心僧都真 恵 跡

了は戦国武将・筒井順慶の 伝えられてい このご絵像を将来した初代・ ます。 庶子と 善

新春のつどい

1月16日(水) 参加費 2,000円

門信徒の皆さんが一堂に つどい新年を寿ぎ、親睦 を深める催しです。 ご家族、近隣のみなさん とお誘い合わせご参加く ださい。

するのが報恩講です。

法要法話等御聴聞に励ま

れ

に感謝し、

そのご恩に報い

ようと

5号をお届けします。

宗祖の

のお知らせをする、

秋季号第12

よい子達のサマースクー

ル

虫干法座、 報恩講、

秋耕の時候となりまし

ご縁に遇われます

様ご案内い

編集委員会

除夜の つどい

12月31日 (おおみそか) 鐘楼前にて

さい。

午後11時40分頃より

過ぎ去るこの一年の 反省と、新しく迎え る年への期待をこめ て、梵鐘を撞いてい ただきます。乙家族 お揃いてお越しくだ

えるべき仏教の使命が真剣に論究 り入れられ、 上にも近代化が進められました。 仏教研究において新しい方法が取 覚と奮起を促すことになりました。 をむさぼっていた僧侶に、 難にあいましたが、 仏教に対する冷遇は、 戦後は、 明治のはじめ仏教は廃仏毀釈 熱心に続けられてい 輝かしい未来をひらく努力 新しい時代の課題に応 教団の組織や運営の かえつて惰眠 明治新政府 ・ます。 い自

され、

仏教講座の日程等 秋季彼岸会等の 仏婦 夏の ◎浄心寺ホームページ http://joshinji.suki-ari.net/